

平成 27 年 5 月 25 日

文部科学省
高等教育局長 吉田 大輔 殿

日本保健師連絡協議会

一般社団法人 全国保健師教育機関協議会

会長 村嶋 幸代

公益社団法人 日本看護協会

会長 坂本 すが

全国保健師長会

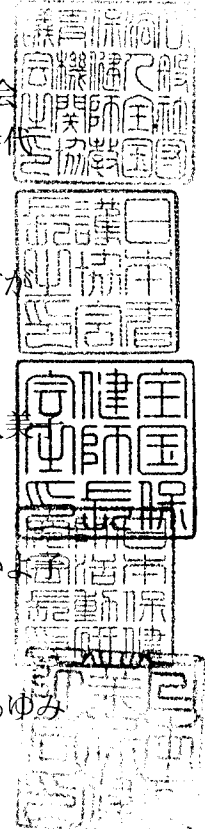
会長 鎌田 久美

日本保健師活動研究会

会長 平野 かよ

一般社団法人日本産業保健師会

会長 大神 あゆみ



時代に応える高度な知的素養と実践力を備えた保健師の教育体制の推進（要望）

日頃から、高等教育としての保健師の養成に、ご理解とご尽力を賜り、感謝申し上げます。
今後、益々重要となる地域活性化・地域力育成のために、大学院や大学専攻科における保健師教育課程を充実させ、実践力を備えた保健師を養成することに一層ご尽力いただきたく、要望いたします。

要望事項

1. 保健師教育は看護師教育修了後の上乗せ教育とし、大学院で行うよう指導すること
2. 大学における保健師教育課程の課題を明確にし、指導監督を強化すること
3. 文部科学省高等教育局の看護教育専門官を増員し、保健師教育の担当を設置すること

【要望の理由】

現在の社会的課題である地域力強化のためには、住民の健康と活力を高める保健師の役割が益々重要になっております。平成26年6月の「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法」の成立を受けて、住民、多職種・多機関と連携し包括的なケアシステムを構築する役割を担う保健師には、従来以上に高度な実践力、マネジメント力、施策化能力と、その基盤となる知識が必要です。特に、保健師が専門性を発揮しているソーシャルキャピタルの醸成を行うためには相応の教育や高い技術が必要です。

これらの社会的ニーズを受けて、平成23年度から大学院修士課程における保健師教育が開始されました。先駆的に実施してきた大学院では修士課程院生の勉学意欲が高く、学部学生からの修士課程への進学希望が増加したと報告されています。修士課程院生の長期間の実習では、地域社会の問題解決に向けた実効性のある提案もなされ、保健活動の質向上にもつながるといふ好循環も生じています。就職後は同僚や上司から高い評価を受け、大学院修士課程で保健師教育を行うことの効果が社会的にも認知されつつあります。一方、大学学士課程における保健師教育は、看護師教育と同時に行われるために、1つの科目を保健師課程と看護師課程の両方で単位認定（読み替え）をしたり、公衆衛生看護学実習が見学のみで対象者や集団に直接関わらない等、保健師の技量を身に付けることができない例があります。

実習では、実際に対象者や集団に働きかけることが不可欠ですが、読み替えや実習の実態は、十分には分かってはおりません。保健師の90%以上が大学で教育される今日、これらの実態を正しく把握し、保健師教育の質向上を図ることが不可欠です。そのためにも、文部科学省高等教育局に保健師教育の専門官を配置していただきたく存じます。また、看護教育専門官の選任に際しては、日本保健師連絡協議会の加入団体にもご周知ください。